



タイトル「たいらっこ防災プロジェクト～火山噴火に備え隊～」

開催概要

- 開催日時 令和4年8月31日(水) 13:50～14:35
- 開催場所 八幡平市立平館小学校
- 参加者 平館小学校5年生 9名
- 講座目的 岩手山噴火に備えるために、どのような設備や役割があるか学ぶ

実施内容

今回の出前講座は、平館小学校で行っている総合学習の一環として授業に同席し、国土交通省の砂防事業を紹介しました。

「監視カメラ」で岩手山の活動を24時間体制で監視していること、「土石流検知センサー」を配置して土石流が発生したら光ケーブルで速やかに情報を得ていること、「砂防堰堤」で土石流が一気に市街地に流れていかないように土砂をせき止める働きがあること、などについて説明しました。

少し難しい内容でしたが、児童はグループに分かれて設備の写真の種類毎に整理したり、職員の説明を真剣に聞いて頑張って理解しようとする姿勢がみられました。今回の授業を通じて、火山防災について考えるきっかけになればと願っています。

実施状況



「岩手河川国道事務所の役割」の紹介



職員の説明を真剣に聞く児童の様子